

吹田市営新佐竹台住宅

誰もが‘楽しく・心地よく’生活できる‘まち’

建物概要

- 所在地：大阪府吹田市佐竹台2丁目
- 建築主：吹田市、株式会社長谷工コーポレーション
- 設計者：株式会社長谷工コーポレーション 大阪エンジニアリング事業部、株式会社市浦ハウジング&プランニング

■ 用途：共同住宅

- 敷地面積：10,539.75㎡
- 建築面積：2,457.99㎡
- 延べ面積：16,747.45㎡
- 構造：鉄筋コンクリート造
- 階数：地上11階/地下-階
- CASBEE評価：Aランク/BEE値1.6
- 重点評価：CO₂削減4.9/省エネ対策3.2
みどり・ヒートアイランド対策3.0



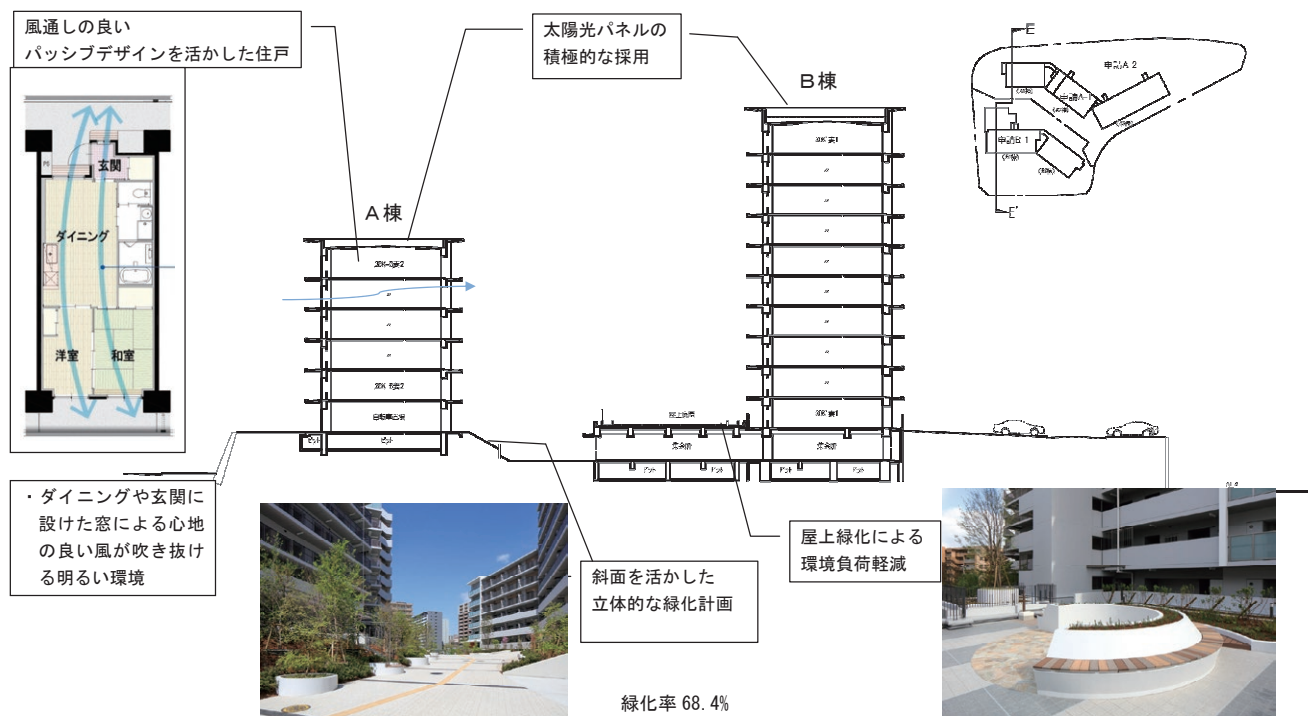
【立地、周辺環境】

北西方向に駅があり、南に府営吹田佐竹台住宅がある立地である。周辺の街路樹と調和する植栽とするほか、敷地内に周辺住民の利便に配慮したシンボルロードや広場を創出し歩行者用の生活動線とすることで、より質の高い公共ネットワークの形成を行った。

【総合的なコンセプト】

まちの環境・価値向上を多くの人が実感できるように「太陽光発電システムや住戸の自然採光、通風を積極的に取り入れ環境負荷に配慮した計画」「周辺施設へ通り抜ける敷地内のシンボルロードや街角広場による新たな生活動線の創出」「段差のないアプローチと介護・介助しやすい住戸プラン計画による高齢者配慮」を基本方針としている。また、構造躯体・給水管の長寿命化を図るとともに、設備の共用部集約等により可変性・更新性を高めた仕様としている。外部空間は、周辺の街路樹と調和するように計画を行い、既存の景観要素である樹種をメモリアルサークルに採用し、土地の記憶を次世代に継承できるように計画を行った。

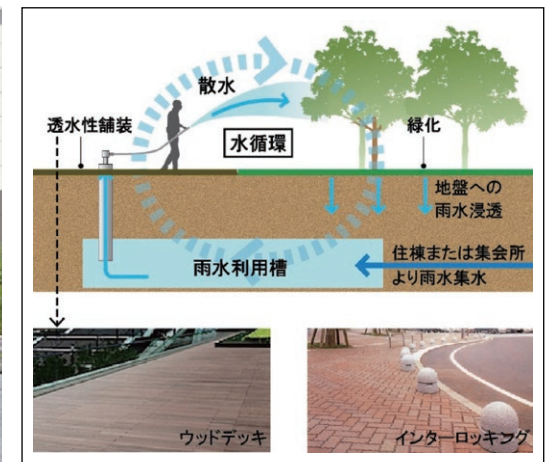
建物断面構成図



環境配慮事項とねらい



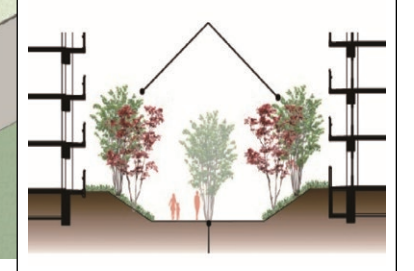
- ・交差点からレベル差なしでつながる西ゲート広場
- ・周辺景観と調和するように計画された街路樹木



- ・雨水集水を利用した屋外散水の利用
- ・浸透性のある外構舗装材としてリサイクル品の採用



- ・両側の高低差を利用した斜面緑化計画
- ・立体的な配置による高木の緑量の確保。



- ・府営住宅に面して配置された東ゲート広場
- ・既存景観を形成していた樹種によるメモリアルツリー



- ・敷地を縦断するシンボルロードの計画
- ・道沿いに配置された集会所やベンチによる住民交流
- ・左右の傾斜地を活かした立体的な緑地と住棟による多彩な景観